

令和 7 年 1 2 月 1 0 日

洞爺湖町議会令和 7 年 1 2 月会議
町 長 行 政 報 告

番 号 件 名

- 1 寄附について
- 2 洞爺湖町合併20周年記念式典の開催について
- 3 第50回東京あぶた・とうや湖会総会への参加について
- 4 令和7年度津波防災訓練の実施について
- 5 2025火山砂防フォーラムの開催について
- 6 白老町で発生した高病原性鳥インフルエンザに係る職員派遣について
- 7 各種事務事業の取組状況について

1 寄附について

前会議から本会議までの間、次の方々より寄附の申し出があり、ご厚志に添うようありがたく受納いたしました。

(1) 金員の寄附（ふるさと納税寄附金として）

個人（匿名含む） 3, 586件（累計 6, 412件）

総額 106, 920, 600円（累計 191, 376, 701円）

(2) 物品の寄附

虻田郡洞爺湖町高砂町37番地

洞爺ライオンズクラブ

会長 鈴木雅善氏

実行委員長 中谷玲二氏

洞爺湖畔遊歩道のベンチ 3台

2 洞爺湖町合併20周年記念式典の開催について

11月3日に洞爺湖町合併20周年記念式典を開催いたしました。

式典では、映像により町のこれまでの歩みを振り返ったほか、ニコイチヴァイオリンのお二人による記念演奏会を行いました。また、記念事業として行われた町内の小学生による絵画コンクールの授賞式を行い、受賞された児童に賞状と記念品を贈りました。寄せられたどの作品も、こどもたちがこのまちで見つけた大切なこと、未来への気持ちが詰まった素晴らしい作品でした。

これからも洞爺湖町のさらなる飛躍を願ってまいりたいと存じますので、議員の皆様には、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3 第50回東京あぶた・とうや湖会総会への参加について

関東圏に居住する洞爺湖町出身者やその家族及び縁故者で組織する東京あぶた・とうや湖会の第50回総会が、11月15日に東京都内で開催され、大西議会議長、石川邦子議員、石川諭議員、鈴木雅善商工会長と共に参加いたしました。

今年度は創立50周年の記念総会であったことから、町で旅費を一部助成し、7名の町民が参加して旧友との親交を深めました。

総会には約50名の方々が出席し、洞爺湖町の近況をご報告するとともに、洞爺湖町の特産品について紹介したところ、故郷の思い出話に花が咲き、盛会のうちに幕を閉じました。

会員の皆様とは、今後も親睦を深めてまいりたいと考えております。

4 令和7年度津波防災訓練の実施について

11月22日に浦河沖を震源とする地震に伴い大津波警報が発表された状況を想定した防災訓練を実施し、住民や保育所児童、洞爺湖消防団等の関係機関を含む約200名が参加しました。

今年度の訓練では、浸水想定区域の住民の避難訓練、災害対策本部の初動体制の構築訓練、防災行政無線及び町ホームページや公式LINE等による情報伝達や情報配信訓練、避難行動要支援者の対応を含めた避難所の開設と運営訓練のほか、住民、消防団員及び町職員が共に避難所資機材の設営訓練を行いました。

また、7月30日のカムチャツカ半島付近の地震による津波警報の際に、課題となった避難所の初動対応や情報伝達手法などの改善も含めて訓練内容を構成し、住民の防災意識の高揚や職員の災害対応能力の向上を図ることができました。

今後も、防災訓練をはじめとする防災・減災に向けた取組を推進し、地域防災力の向上に努めてまいります。

5 2025火山砂防フォーラムの開催について

10月30日及び31日の2日間、洞爺湖文化センターを主会場に、2025火山砂防フォーラムを開催し、有珠山周辺地域の児童生徒や火山地域の自治体職員など約800名の参加をいただきました。

当町での開催は、平成14年以来23年ぶりとなり、2000年有珠山噴火災害から四半世紀を迎え、これまで有珠山周辺地域で取り組んできた地域住民による伝承活動や防災・減災教育活動を、洞爺湖有珠火山マイスターのみなさんが実演を交えて紹介し、また、洞爺湖温泉観光協会の越後副会長や、洞爺地区に移住された宮本さんに参加をいただいて、「火山地域のサステナブルなまちづくり」についてパネルディスカッションを行い、火山地域がこれからも持続し、発展するための「火山との共生」の在り方や、監視・観測体制の強化、砂防施設の整備を含めた地域防災力の向上のための貴重な提言をいただきました。

本フォーラムの開催に当たり、ご協力をいただきました関係機関の皆様に心より感謝を申し上げます。

6 白老町で発生した高病原性鳥インフルエンザに係る職員派遣について

10月22日に白老町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生し、10月23日から開始された防疫措置の支援作業に対して、胆振総合振興局より職員の派遣要請があり、当町から農業振興課職員2名を派遣し、大型鶏舎8棟の殺処分支援作業を行いました。

防疫作業については、道職員・関係機関・近隣市町村の他に、初めて民間事業

者へ業務委託し、常時90名～120名体制で作業を実施いたしました。

11月2日に農場防疫措置が完了し、11月24日の午前0時をもって、移動制限区域が解除となり、今後、新たな発生等がなければ、監視強化区域解除検査で陰性を確認した上で解除となり、監視の終了と対策本部を廃止する予定となっております。

7 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告いたします。

(1) 洞爺湖町国民健康保険運営協議会委員の委嘱について

洞爺湖町国民健康保険運営協議会委員の任期満了に伴い、次の方々に委員を委嘱しました。

なお、11月4日に運営協議会を開催し、会長に丸田 明氏、職務代理者に中上玲子氏が選出されました。

(敬称略)

区 分	氏 名	所 属	備 考
公 益 代 表	中 上 玲 子	自治会連合会	再任
	丸 田 明	農 業	再任
	高 臣 陽 太	商 工 団 体	新任
	森 幸 子	女 性 団 体	新任
被 保 険 者 代 表	久保田 章 子	自 営 業	再任
	横 山 みどり	農 業	新任
	小 林 進 市	漁 業	再任
	竹 内 史 子	自 営 業	新任
医 師 薬 剤 師 代 表	大 浦 哲	医 師	再任
	井 口 明	医 師	再任
	伊 藤 善 廣	歯 科 医 師	再任
	吉 田 聡	薬 剤 師	再任

(任期 令和7年10月30日から令和10年10月29日まで)

(2) 洞爺湖町高齢者運動会の開催について

10月20日に65歳以上の方々を対象とした「第17回洞爺湖町高齢者運

動会」が、あぶた体育館で開催されました。

当日は、町内の老人福祉施設3か所からの参加者を含め、総勢100名の方が参加され、4チームに分かれてバケツリレー、おそうじリレー、大勝負リレー、紅白玉入れなど4種目で腕前を競い合い、和やかな中にも熱戦が展開されました。

また、今大会から健康増進のために個人の体力測定を実施し、各々が好記録を目指し頑張っておられました。

種目の最後には参加者全員による盆踊りなどで交流の輪を広げ、健康を実感する楽しい一日を過ごされました。

大会運営にご協力いただきました多くのボランティアの皆様、関係団体の皆さまに心よりお礼申し上げます。

(3) 民生委員・児童委員の委嘱について

民生委員・児童委員の任期満了に伴い、12月1日付けをもって次の37名の方々が、厚生労働大臣並びに北海道知事より委員に委嘱され、併せて洞爺湖町福祉調査員に委嘱をいたしました。

なお、12月1日に第1回民生委員児童委員協議会が開催され、会長には永井宗雄氏、副会長には小塚由美子氏、奥山洋子氏、矢野春美氏が選任されました。

(敬称略)

役 職	氏 名	担 当 地 区	備 考
会 長	永 井 宗 雄	泉	再 任
副会長	小 塚 由美子	青葉2区	再 任
副会長	奥 山 洋 子	温泉3区	再 任
副会長	矢 野 春 美	大原・富丘	再 任
	野 坂 登	1区	再 任
	木 村 祐 賢	3区	再 任
	千 葉 真理子	4区	再 任
	小 林 美智子	5区	再 任
	長谷川 幸 子	6区	再 任
	尾 形 幸 栄	6区	再 任
	石 原 英 司	6区	再 任
	葛 西 和 彦	三豊・かつこう台	再 任
	大 木 郁 子	7区	再 任
	熊 谷 深 雪	8区	再 任
	山 内 えい子	入江1区	再 任

役 職	氏 名	担 当 地 区	備 考
	江辺野 正 一	入江1区	再 任
	相 澤 正 一	入江3区	再 任
	齊 藤 実代子	入江4区	再 任
	萩 原 直 美	入江4区	再 任
	齊 藤 明 子	泉	再 任
	沼 田 敏 博	青葉1区	再 任
	野 口 喜美子	清水	再 任
	青 山 伸 子	月浦	新 任
	塩野谷 久 子	花和	新 任
	板 垣 恵美子	温泉1区	再 任
	小 林 圭 子	温泉2・4・5区	新 任
	七 戸 朝 子	温泉8区	再 任
	齋 藤 美 穂	温泉8区	新 任
	稲 實 邦 章	1～3・6町内	再 任
	寺 田 ゆかり	4～5町内・曙	再 任
	斉 藤 ももえ	美沢西・美沢東・温泉病院	新 任
	佐々木 綾 子	財田・川東・岩屋	再 任
	丸 田 明	成香	新 任
	卷 進	香川	新 任
	佐 藤 正 記	主任児童委員	再 任
	澤 田 敏 子	主任児童委員	再 任
	以 西 水 音	主任児童委員	再 任

(任期 令和7年12月1日～令和10年11月30日)

(4) 工事等の入札状況について

工事等の入札状況について、別紙のとおり報告いたします。